

3. 学修・教育用情報システムの利用案内

(1) LMSの利用

学習・授業支援システム（LMS）はオンライン上にて、授業資料の配布、アンケート調査、レポート課題提出、テスト、掲示板による意見交換などを行うことができるシステムです。授業や学修の中で、学生と教職員間の情報共有を効率的、効果的に行うことなどを目的として導入されています。LMS は、PC、タブレット端末、スマートフォンなどを用いて、インターネット経由で利用可能です。利用は学内外を問いませんが、LMS のログインには、学生用 D-DOA とパスワードが必要です。

携帯メールアドレス宛に、LMS を介して重要なお知らせの提供や、授業評価などのアンケートの実施なども行われています。以下の安否確認を含めて、LMS 上の携帯メールアドレス登録情報は大変重要となっていますので、変更があった場合は速やかに LMS 上の登録も修正して下さい。

(2) ICT を活用した安否確認システムの利用

東日本大震災後、大規模災害時の対応として、携帯メールと LMS を用いた学生対象の安否確認を行える環境を構築しました。

万が一の際に大学と学生間で、情報共有を行うための重要な仕組みとなっています。しかし、学生携帯メールアドレスが変更などにより、LMS 上に登録されているものと合っていない場合、安否確認メッセージが届かないなどの状況が発生します。学生の携帯メールアドレスを変更した場合は、LMS 上の携帯メールアドレス登録情報を更新する必要があります。必ず行うようにしてください。

(3) ウイルス対策ソフトウェアの利用

コンピューター教室の PC は、ウイルス対策ソフトウェアがインストールされています。USB メモリーを利用する際など、ウイルス感染していないことを確認してください。

また、個人所有のコンピューターにおいてもセキュリティ対策を必ず行うようにして下さい。無線 LAN 環境 DARWiN を用いて学内ネットワークに接続する際に、ウイルス感染による影響を他の多くの利用者に及ぼさないためにも、ウイルス対策ソフトウェアを適切に利用してください。

なお、学生個人用の PC でも利用できるウイルス対策ソフトを現在提供しています。学生用 D-DOA とパスワードを使用して情報基盤センターのホームページからダウンロードが可能です。ただし、あくまでも一つの選択肢として提供しています。他のウイルス対策ソフトの利用でも問題はありません。

(4) Microsoft Office ソフトウェアの利用

本学では、マイクロソフト社と包括ライセンス契約 (EES:Enrollment for Education Solution) を締結しています。このライセンスは、学生個人用の PC に最新版の Office (Word、Excel、PowerPoint 等) をインストールして利用することができます。詳細については情報基盤センターのホームページを参照してください。

(5) 注意事項

- ・情報基盤センターから提供されているネットワーク上のシステムおよびソフトウェアの利用については、ホームページを参照して下さい。なお、提供している環境は、ライセンス契約や他のシステムへの移行などにより、変わる場合があります。
- ・システム上に保存するファイルなどは、システム障害等によりデータの破損や消失が発生した場合に備え、必ず自分のコンピューターなどにもバックアップして下さい。
- ・ソフトウェアなど、本学から利用可能な環境として提供されているものは、ライセンス契約に基づいて利用が許可されています。認められている範囲外での利用は絶対に行わないで下さい。不適切な利用や、不正な利用は、本人の問題だけでなく、大学全体へも影響します。